

『依存』から『自立』へ…あなたの町『城南』です みんなで創ろう住みよい町を!!

城南かわら版

上田城南地域協議会だより

平成28年3月31日発行
(第11号)

発行元：上田城南地域協議会
(事務局) 市民参加・協働推進課
電話：75-2230

■ごあいさつ

第5期上田城南地域協議会委員の任期終了にあたり、委員20名を代表いたしましてご報告とご挨拶を申し上げます。第一次上田市総合計画の最終の2年間に当る第5期、我々は三つの部会に別れて調査・研究を進めてまいりました。そして去る1月14日に市長へ3件の意見書を提出いたしました。上田市9地域協議会において、調査研究を進め、今期市へ提出された意見書合計11件のうち、3件を上田城南地域協議会が占めたということで、委員の皆さんの活動が活発であったことをご理解いただけたと思います。



今期はこれ以外にも大きな案件がありました。城下地区自治連、川辺・泉田地区自治連と連携しながら、上田市が推進する『地域内分権』を具現化するための「住民自治組織」設立の検討を行いました。そしてまず、「住民自治組織」設立のための検討組織「城南地域まちづくり会議」を発足させることができました。また、第2期&第3期上田城南地域協議会委員の皆さんが調査・研究し、平成23年度に市へ提言した意見書を基にして、「城南地域の自然・歴史的資源活用実行委員会」が発行する冊子「城南地域のたから」の編集作業にもかかわりました。「城南地域のたから」は皆さんの家庭に1冊ずつ配布されるということですので可愛がってやって下さい。更に「わがまち魅力アップ応援事業」の審査、現地視察等もあり、忙しさに紛れあっという間の2年間でした。この間、陰に陽にといろいろな方々に支えられて何とか今日を迎えることができました。ありがとうございました。

4月からは「第6期上田城南地域協議会」、「城南地域まちづくり会議」の活動が始まります。住民の皆さんの更なるご理解とご協力をお願いいたしまして、私のご報告とご挨拶といたします。

会長 荒井 貞雄

■市長へ意見書を提出

市内9地域協議会に設置されている地域協議会は、地域の意見や要望等を集約し、行政に意見を述べたり、地域の重要事項の決定の際、市からの諮問に対して地域の意見を述べたりし、市の施策に反映させていくための協議会です。

上田城南地域協議会では、3つの部会を編成し、平成26・27年度の2カ年にわたって地域の課題解決や地域の活性化に向けた協議を進めてまいりました。

平成28年1月14日には、「地域交通の利便性について」、「小中学校児童期におけるこれからの子育てについて」、「シニアの安全・安心なまちづくりについて」の意見書を市長に提出しました。詳しい内容については、次ページ「部会の取組状況」をご覧ください。



▲意見書手交式の様子

■部会の取組状況

第1部会 テーマ 「地域交通の利便性について」

第1部会では、地域交通の利便性向上について調査、研究を行ってまいりました。城南地区においては、別所線のほか、路線バスが県道川西線、青木線、室賀線で運行され、また、週2回のオレンジバスは浦里・室賀コース、西塩田コース、東塩田コースがあり、一見交通の利便性が良いように見えますが、現状は「バス停が遠い」「運行数が少ない」「電車との接続が悪い」など利便性が悪く、多くの地域住民は買い物、通院などは自家用車あるいは、家族などの送迎に頼っております。このため実状を把握すべく500人超の城南地域の住民にアンケートを実施しました。その結果、多くの高齢者は買い物、通院などに自家用車を利用していますが、車の運転が出来なくなった時点で交通手段が得られにくいことを大変危惧していることがわかりました。

アンケート結果から多くの課題も出て来ましたのでこれらを整理し、利便性の良い安心、安全な住みやすい城南地域づくり向け、具体的に5項の意見書として市へ提出しました。

メンバー

部会長 牧野良平（千曲町）
上原より子（川辺町）、石井真奈美（半過）、井出祐三郎（上田原）、西澤尚夫（御所）、増澤吉雄（中村）

＜意見書概要＞

- ①小型バスにより幹線から地域の細部に入った運行について
地域の細部までの運行が可能になる小型バスの検討をしていただきたい。
- ②一律料金、共通券などによる利便性向上について
一律料金設定、各社共通券（プリペードカード等）使用等、運用システムの改善をしていただきたい。
- ③JR・別所線との連絡向上について
接続が悪い時間帯があるので見直していただきたい。別所線上田原駅発着の小型バスの運行も検討していただきたい。
- ④デマンド型乗合タクシーについて
安価なデマンド型タクシー（時間帯、乗車場所等を指定して乗車する）の導入を検討していただきたい。
- ⑤交通渋滞の緩和について
国道143号線の道路拡幅、南部消防署横の変則5差路の渋滞緩和等図っていただきたい。

第2部会 テーマ 「小中学校児童期におけるこれからの子育てについて」

＜意見書概要＞

- ①学校支援ボランティアの充実について
ボランティア拠点室の確保、人材の発掘、ボランティア活動を拡大していただきたい。
- ②コーディネーターの養成及び地位の確立について
コーディネーターの指導育成と費用弁償等、経済的支援を図っていただきたい。
- ③信州型コミュニティスクールの早期導入について
先進地視察、運営委員会の設置、予算確保をしていただきたい。

メンバー

部会長 柳澤政次（千曲町）
河野照美（千曲町）、新谷靖代（福田）、田中剛（中之条）、宮本安芸子（下之条）、山崎須美江（小牧）

第2部会では小中学校児童期におけるこれからの子育てについてをテーマとし、主に平成29年度から上田市全域にて導入予定の信州型コミュニティスクールが定着するには何が必要かを研究してまいりました。信州型コミュニティスクールとは、学校と地域が「こんな子どもを育てたい」という願いを共有しながら一体となって子どもを育てる持続可能な仕組みを持った地域と共にある学校です。学ぶ要素は学力の向上、体力の向上、社会力（生きる力）の向上でそのすべてに家庭、地域、学校の三者が関わってきます。

部会では、城南地域の各小中学校を訪問し、聞き取り調査やアンケート調査等を繰り返し実施しました。また、先進の活動事例を知るために塩尻市の生涯学習センターでスキルアップセミナーも受講しました。

このような活動の中から、子どもたちは『授業内容が理解できる、友達がいる、そして自分の居場所がある』学校を望んでいると考え、信州型コミュニティスクール導入にあたっての課題を意見書にまとめ提出しました。

第3部会 テーマ 「シニアの安全・安心なまちづくりについて」

第3部会では、少子高齢化社会が進む中で、一人暮らし高齢者等の見守り、声かけ、安否確認等を地域全体で取り組む必要性を感じました。また、この地域では、商業施設の移転・閉店が続いており、高齢者が日常生活での買い物に苦慮している状況であることから、「シニアの安全・安心なまちづくり」をテーマに調査研究を進め、今後の城南地域のまちづくりに反映していただくため次のとおり、上田市へ意見書を提出しました。

メンバー

部会長 田玉利貞（御所）
青島洋祐（神畑）、石井信子（半過）、内山保男（御所）、大久保章（倉升）、関美佐子（神畑）

＜意見書概要＞

- ①災害時要援護者登録制度について
登録率向上及び制度の周知徹底、「住民支え合いマップ」の更なる活用を進めていただきたい。
- ②地域の高齢者施設に対する福祉避難所指定について
要援護者の二次的な避難場所としての福祉避難所の指定を進めていただきたい。
- ③大型商業施設等の買い物バス空白地域対策について
市及び商工会議所等の協議・連携により、利便性の向上を図っていただきたい。

■平成27年度わがまち魅力アップ応援事業について

上田市では、自治会や市民活動団体の皆さんが、地域の課題解決や活性化のために、自主的・主体的に取り組む地域づくり活動を応援しています。平成27年度では、上田城南地域管内で4件の応募があり、3件が採択となりました。

今年度実施された地域づくり活動を紹介します。



▲好きです吉田会の活動状況



▲発行した冊子の表紙

団体名	事業内容	年目
吉田自治会 好きです吉田会	・ 八十八夜祭りの復活 ・ 体験型農作業による大人と絆作り	3
ふるさとづくり協議会	・ 竹やぶ整備 ・ タケノコ畑づくり及び活用	1
城南地域の自然・ 歴史的資源活用実行委員会	「城南地域のたから」冊子の発行	1

■城南地域まちづくり会議発足

上田市では地域住民が主体的に「住民自治組織」を設立し、まちづくりに取り組む『地域内分権』を推進しています。上田市を9つに分けた地域のうち、既に神科・豊殿地域、川西地域、丸子地域では、「住民自治組織」設立のための検討組織を1年前から発足させ活動しています。城南地域でも城下地区自治連、川辺・泉田地区自治連と上田城南地域協議会が連携して今年度当初から検討を進めてまいりました。

そして、去る3月15日に「城南地域まちづくり会議」（城南地域にふさわしい「住民自治組織」設立のための検討組織）が発足しました。城下地区、川辺・泉田地区の各自治会代表者、上田城南地域協議会委員の計39名から成る組織です。

今後必要に応じ新たなメンバーを加え、1年後の「住民自治組織」発足を目指して活動を進める予定です。

■移動市長室について



▲市長との懇談の様子

上田市では、各地域における課題協議や住民との意見交換を行う「移動市長室」が平成26年度から実施されており、平成27年8月25日には城南公民館において、母袋市長と当地域協議会との懇談会が行われました。

当日は、正副会長及び各部長が出席をし、日頃の協議会における活動概要を報告するほか、3つの部会による活動状況、課題等の報告をいたしました。城南地域の課題を市長に直接聞いていただくことができ、今後のより良い地域づくり実現に向けて有意義な時間となりました。

◆◆◆ あとがき ◆◆◆

城南かわら版第11号をお届けします。第5期の上田城南地域協議会の活動も3月で終了しました。今回は第5期の各部会が2年間活動し市への意見書としてまとめられた内容を中心に報告いたしました。

城南かわら版は今期3回発行をいたしました。ご愛読いただきありがとうございます。今後も地域の課題や、まちづくりに関するご意見・情報を事務局までお寄せください。

会長：荒井貞雄、副会長：宮下千元、広報委員：井出祐三郎、新谷靖代、田玉利貞